

## 2019年 リーボック クラシックが訴求していく「90年代」 当時人気を博した「AZTREK」オリジナルカラー3色復刻 ～ロゴも90年代当時の「ベクターロゴ」に一新～



グローバルフィットネスブランドのリーボック（所在地：東京都港区六本木一丁目9番10号）は、歴代の名作を中心に展開するリーボックのカジュアルライン“Reebok CLASSIC（リーボック クラシック）”において、1993年にランニングシューズとして登場した「AZTREK（アズトレック）」のオリジナルカラー3色の復刻モデルを2019年1月19日（土）に発売します。

リーボック クラシックは2019年トレンドであり、リーボックの数々の人気を博した名作が生まれた「90年代」をテーマとして、商品・およびブランドを訴求していきます。その一環として2018年末より、リーボック クラシックのロゴを90年代当時のリーボックのロゴである、「ベクターマーク」に刷新しており、ブランドが持つ90年代のヘリテージを伝えていきます。

そして、90年代を訴求する最初の商品として、1993年にランニングシューズとして登場した「AZTREK」を同日2019年1月19日に発売します。このモデルは、2018年秋冬にオリジナルカラーを2色発売し話題を集めたシューズであり、今回は更に3色を復刻発売します。

発売当時、「AZTREK」はリーボックの最上位パフォーマンスシューズの1足として登場しました。路面の異なるオフロード対応の多目的モデルであった今作は、当時としては非常に斬新であったダイヤ型のスタッズアウトソールを始め、独自の軽量クッション素材“Hexalite（ヘキサライト）”を搭載。ヒール上部のドット部分にリフレクター素材を用い、アッパーの前足部に独特のサポートパーツを施すなど、随所にオリジナリティ溢れるディテールが盛り込まれています。レトロ感ある、ボリュームあるシルエットや、レトロなネオンカラーの配色も特徴です。デザインは、数々の有名スニーカーを手掛けるデザイナー“クリスチャン・トレッサー”が手掛けています。

今年は更にリーボックが誇るアイコン的なモデルの周年企画や、90年代当時のオリジナルモデル復刻、国内外のユニークなコラボレーションなども予定しています。様々な商品やイベント、お客様の体験を通じて、90年代のリーボックのヘリテージを、現代に訴求していきます。

■ REEBOK '90s URL : <https://reebok.jp/classic/reebok90s/>



※2018年末より刷新した新ロゴ



※リーボック90年代当時のロゴであるベクターマーク



AZTREK 商品概要



名称：AZTREK OG (アズトレック OG)

- 品番/カラー：（左から）  
[CN7840] ホワイト/ブラック/クラッシュドコバルト/ソーラーイエロー  
[CN7841] ホワイト/ブライトローズ/クラッシュドコバルト/チームパープル  
[DV3747] トゥルーフグレー/タイムレスティール/オーバージン/ブラック
- 発売日：2019年1月19日（土）
- サイズ：22.5cm～31.0cm
- 自店販売価格：¥11,880（税込）
- 発売店舗：
  - ・リーボック オンラインショップ (<http://reebok.jp>)
  - ・リーボック クラシックストア(原宿、HEP FIVE、ダイバーシティ東京、あべの HOOP、立川立飛、横浜ビブレ、名古屋みなとアクルス)
  - ・ZOZOTOWN (<http://zozo.jp/shop/reebok/>)
  - ・atmos Harajuku / BILLY'S ENT 各店 / Dice&Dice / JEANS FACTORY / KICKS LAB. / mita sneakers / UPTOWN 熊本店 / 伊勢丹新宿本店 婦人靴 / マルイウェブチャネル